

令和2年7月2日

【令和2年7月2日11時30分発表】

近畿地方建設専門新聞各社

【問い合わせ先】

一般社団法人公共建築協会
近畿地区事務局 山田、山本

TEL 06-6943-7571

FAX 06-6943-7576

E-mail:pba-kinki@pba.or.jp

第17回公共建築賞「公共建築賞・優秀賞」及び「地域特別賞」（近畿地区）

の決定について

（記者発表資料）

1. 公共建築賞の概要

- ・公共建築賞は、優れた公共建築を表彰することにより、公共建築の総合的な水準の向上に寄与することを目的とするもので、昭和63年から隔年で実施されており、今回で17回目を迎えます。
- ・数ある建築賞の中で、公共建築を対象としていることのほかに、評価の基準として、建築物の設計・施工が優れていることに加え、地域社会への貢献や施設の管理全体といった視点からも評価を行うこととしており、そのため竣工後3年以上経過したものを対象としていることが特徴です。

2. 第17回公共建築賞の応募状況等

令和元年6月に募集を開始した第17回公共建築賞について下記の通り決定したのでお知らせいたします。

なお、これまで行ってきた各地区における表彰式(伝達式)は、現下の状況に鑑み中止とするとともに、これ以降に予定していた「公共建築賞（国土交通大臣表彰）」、「公共建築賞・特別賞（国土交通省大臣官房官庁営繕部長表彰）」の選考（第二次審査）についても当分の間、延期することにいたしましたのであわせてお知らせいたします。詳細については添付の「第17回公共建築賞の今後の審査スケジュール」をご覧ください。

記

- 1) 第17回公共建築賞「公共建築賞・優秀賞」及び「地域特別賞」は、全国から88点の応募があり、全国の9地区に設置した第17回公共建築賞地区審査委員会において、令和元年10月より第1次審査を開始し、各審査委員会による応募書類、現地調査の結果、「公共建築賞・優秀賞」32点の公共建築が第2次審査の対象とし、「地域特別賞」8点の公共施設が、第17回公共建築賞審査委員会（協会本部）に推薦されました。
- 2) 近畿地区においては14点の応募があり、第1回近畿地区審査委員会（令和元年11月1日）において、応募14施設から現地調査の対象9施設を選定し、近畿地区審査委員による現地調査を順次

実施し、第2回近畿地区審査委員会（令和2年1月16日）において、「公共建築賞・優秀賞」の4施設及び「地域特別賞」の2施設を選定し、第17回公共建築賞審査委員会に推薦いたしました。審査の結果「公共建築賞・優秀賞」及び「地域特別賞」に決定されました。

- 3) 近畿地区の優秀賞・地域特別賞の伝達式は5月に実施する予定でしたが、現下の状況から中止いたしました。

3. 近畿地区審査委員会委員（敬称略）

委員長 鈴木 毅（近畿大学建築学部 教授）
委員 小池 志保子（大阪市立大学生活科学研究科 准教授）
委員 寺本 武司（大阪府住宅まちづくり部公共建築室長）
委員 中村 宏之（読売新聞大阪本社 論説・調査研究室主任研究員・編集委員兼務）
船木 七月（読売新聞大阪本社 論説・調査研究室主任研究員）
令和2年6月1日付け委員変更
委員 村上 幸司（国土交通省近畿地方整備局営繕部長）

4. 近畿地区「公共建築賞・優秀賞」4点（順不同）

- （公共建築賞・優秀賞）太子町新庁舎 太子の環
- （公共建築賞・優秀賞）竹中大工道具館新館
- （公共建築賞・優秀賞）立命館大学いばらきキャンパス
- （公共建築賞・優秀賞）ロームシアター京都

5. 近畿地区「地域特別賞」2点（順不同）

- （地域特別賞）TSURUMI こどもホスピス
- （地域特別賞）京都鉄道博物館

6. 近畿地区優秀賞及び地域特別賞の概要

凡例 ①事業者 ②設計者 ③施工者 ④建物規模 ⑤所在地

■太子町新庁舎 太子の環（公共建築賞・優秀賞）

聖徳太子に由来する歴史を持ち、自治意識が強く市町村合併を選ばず独自の町政を貫く兵庫県太子町の新庁舎である。

行政棟、議会棟、地域交流センターが、大きな中庭広場を介して相互に繋がる形となっており、コンパクトな建物と回遊状の動線を組み合わせた構成で、巡っていくと動線の先にはいつも好ましい風景と場所が生まれていて、ゆとりと豊かさを感じさせる。

ボリューム感を抑えた屋根面と深い軒、巧妙に分節された壁、デッキやコリドーを経た視線の交錯、更に無機質の壁面と温もりのある木質の内装や外部の芝面などによって、日陰、まぶしさ、透明感など五感に訴えかける居心地の良さと高度なデザイン性が両立している。

議場を眺められ24時間開放されている広場はどこからでもどこへでも自由に通ることができ、禁止ではなく、マナーと良識に期待した運営で美しく維持されている。交流ラウンジはイベント時のみならず、中高生をはじめとする市民が日常的に利用する居場所となっている。他にも、食器付きで複数家族でパーティにも貸し出せるスペース、障がい者の働く目標となっているカフェ、災害時への準備など見どころは多い。

意欲的かつ丁寧・周到に計画・デザイン・施工・運営された庁舎であり、理念ある発注者と優れた建築家が組めばこれだけのものができることを示してくれる建築界の希望となる施設である。

- ① 兵庫県太子町 ② 坂本 昭・設計工房 CASA ③ 大鉄工業株式会社 ④ RC造一部
SRC造 S造地上3階建て 延べ面積 8,181 m² ⑤兵庫県揖保郡太子町斑鳩 280 番地 1

■竹中大工道具館新館（公共建築賞・優秀賞）

我が国が誇る大工文化を伝え、広める日本唯一の大工道具館である。

六甲山から連なる敷地内の植生を最大限残すことにより、山並みと一体となって佇んでいる。各所にみられる、新しい技術と卓越した職人技、洗練されたデザインと高度な施工を通して、ものづくりの心が見えてくる極めて完成度の高い建築である。

運営についても、積極的な企画展示やイベントが開催されており、海外からを含む多数の来館者が、伝統と現代を体感できる建築空間の中、貴重な道具のコレクションと展示を見て、聴いて、手で触れ、匂いを嗅いで、五感で味わい鑑賞できる大工文化の発信基地として存在感を持つ施設である。

- ① 公益財団法人 竹中大工道具館 ② 株式会社竹中工務店 ③ 株式会社竹中工務店
④ S造、SRC造 地上2階地下1階 延べ面積 1,884 m² ⑤ 兵庫県神戸市中央区熊内町 7-5-1

■立命館大学いばらきキャンパス（公共建築賞・優秀賞）

まさに未来をもたらす「まぜるキャンパス」をコンセプトに、学生同士、学生と市民の接点を最大限に目指した新時代の大学キャンパスである。茨木市、立命館大学、UR 都市機構の官民が一体となり、ビール工場跡地に、防災公園、市民開放施設、大学を整備している。

特筆すべきは、境界が見えないキャンパスと公園の関係、都市軸と動線が十分に検討された配置計画とそれらが生み出す風景である。公園のみならず、大学内には、レストラン、カフェはもちろん、ギャラリー、図書館、まちライブラリー、ホール（成人式にも利用）、さらには商工会議所まで、様々な開放施設が設けられている。

大屋根と屋内外テラスを持つ、公園に面した「コンコース」と呼ばれる明るい主動線空間にはヒューマンスケールのコーナーが展開され、掲示板や家具が学生たちの思い思いの活動をサポートし、新しい教育環境としても魅力的である。

地域施設と一体化されたキャンパスの運用は、地域連携室が担い継続的な運用を行っている。市民参加型のガーデニング講座や、失われた里山を再生するボランティアはじめ、大学教職員、学生、市民が一体となった活動、様々な共同イベント、地域住民の日常利用と学生活動の魅力的な共存は、真の意味での「地域に開かれたキャンパス」として今後の大学の在り方を示す新たなモデルとして大きな意味を持っており、そのチャレンジと成果は高く評価される。

- ① 学校法人立命館 ② 学校法人立命館キャンパス計画室、株式会社山下設計、株式会社竹中工務店 ③ 株式会社竹中工務店 ④ S造（一部 RC造、SRC造）地上9階 延べ面積 110,202 m²
⑤ 大阪市茨木市岩倉町 2-150

■ロームシアター京都（公共建築賞・優秀賞）

戦後モダニズムの傑作である京都会館を保存・継承し、現代にふさわしい新たな機能・価値を加えたリノベーションである。

市民に馴染んだ景観を尊重しつつ、課題の多かった第一ホールを解体し、バレエやオペラなどの総合芸術が可能で、トッププロから市民までが利用できるメインホールを実現している。同時にバルコニー部分を屋内化し、ホールをサポートする内部空間を確保するとともに、ロビーを介して南北に通る抜けが可能な動線を整備して施設を街に開かれたものにしていく。打ち込みタイルや床模様などの、前川建築のヴォキャブラリーも注意深く整備して施工するなど、公共建築としての機能と施設水準の向上を図りながら、建物の価値保存に繊細かつ入念な対応をしている。

多くの自主事業公演を企画する運営組織と市民ネットワークの事業によって、ホールは高い施設稼働率であり、目標とされた舞台芸術文化の創造が達成されつつある。

また新たに設置されたブックカフェとレストランは、ホール公演がなくとも訪れることのできる憩いの場となっており、広場・公園や他の公共施設との一体的な管理とあわせて、岡崎地区の新たな魅力の創造に貢献している。

- ① 京都市 ② 香山壽夫建築研究所、東畑建築事務所 ③ 大林組・藤井組・岡野組・きんでん・東洋熱工業特定建設工事共同企業体 ④ RC造、SRC造（一部 S造）既存棟 RC造、S造、地上6階、地下2階 延べ面積 20,701 m² ⑤ 京都市左京区岡崎最勝寺町 13

■TSURUMI こどもホスピス（地域特別賞）

難病のこどもと家族に「当たり前」の日常を提供するという、これまでの公的サービスではカバーできない福祉の場を実現した日本初となるこどもホスピスである。

多様な性格を持たせた6つの家と道によって構成される村のような場が創設され、複雑で優美な木造架構をはじめとする素材やディテール、サインも含めて、こどもたちの想像や興奮を掻き立てる暖かみのある空間になっている。

こうした環境の中で、こどもたちはそれぞれに向けてスタッフが検討・プランニングした、他では不可能な特別な時間（家族や友人との宿泊等）を家族とともに体験することができる。また屋外の「遊び創造広場」は地域に開放され、ボランティアや様々な支援を受け入れ、多くの人が関わるきっかけと交流の場が生まれている。

- ① 公益財団法人こどもホスピスプロジェクト
- ② 大成建設株式会社
- ③ 大成建設株式会社
- ④ 木造 在来軸組工法 地上2階 延べ面積 979 m²
- ⑤ 大阪市鶴見区浜 1-1-77

■京都鉄道博物館（地域特別賞）

伝統を重んじながらも常に革新を続ける京都の地に、日本の近代を支えた鉄道の歴史・技術・文化・記憶を、リアルな建物や列車に触れながら体験・共有できる場を整備した意義深いプロジェクトである。

旧交通博物館の機能移転となる新館建設だけでなく、現敷地に残る重要文化財である梅小路機関車庫や旧二条駅舎、さらに営業線とつながった引き込み線などの既存施設を生かして一体的活用を図り、「見る、触る、体験する」といった複合的な展示など、ここにしかない特別な体験を提供する施設となっている。

扇形車庫については文化庁と協議し、文化財としてのオリジナルを損なわず、可逆性のある耐震補強を工夫している。また、周辺環境に対しては、スカイデッキが町への新たな視点場を提供するとともに、JR 新駅を含めた梅小路公園全体の賑わいの創出に貢献しており、積極的な展示企画とあわせ、京都にこれまでにない場所を生み出している。

- ① 西日本旅客鉄道株式会社
- ② 【博物館】ジェイアール西日本コンサルタンツ・東畑建築事務所設計共同体、大成建設株式会社
- 【梅小路機関車庫耐震改修他】西日本旅客鉄道株式会社、ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社
- ③ 【博物館】大成建設株式会社関西支社
- 【梅小路機関車庫耐震改修他】大鉄工業株式会社
- ④ S造地上3階 延べ面積 21,814 m²
- ⑤ 京都市下京区観喜寺町 3-13（梅小路公園内）

※事業者、設計者、施工者は、一部、表彰対象者と異なります。（2020年7月時点）

7. 第17回公共建築賞の今後の審査スケジュール

(1) 2次審査の実施について

1) 第17回公共建築賞審査委員会(本部)による今回の「公共建築賞・優秀賞」の決定を経て、今後、各◎地区審査委員会より推薦のあった公共建築について、書類審査のうえ現地調査対象公共建築を選定し、その結果を踏まえて次の各賞を選定することになります。

ア 公共建築賞（国土交通大臣表彰）

次の3部門ごとに、総合的に最も優れた公共建築を選定します。

- ① 行政施設部門
- ② 文化施設部門
- ③ 生活施設部門

イ 公共建築賞・特別賞（国土交通省大臣官房官庁営繕部長表彰）

前記の3部門を通じて、特に優れた特徴を持つ公共建築2点内外を選定します。

2) しかしながら、現下の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）にかかる非常事態宣言終了後に合っても、域外移動の自粛などの感染防止対策の継続が求められるとともに、今回、推薦のあった公共建築の中には病院、学校なども含まれていることから、現地調査の実施にも支障ができることが予想されます。このため、第2次審査の現地調査については、来春以降に延期することにいたします。

(2) 「第17回公共建築賞表彰式」の実施について

前期(2)の現地調査の延期に伴い、本年11月11日(水)の「公共建築の日」に開催を予定していた表彰式については、来年(令和3年)11月11日(木)の「公共建築の日」に開催することにいたします。



■太子町新庁舎 太子の環 (公共建築賞・優秀賞)



■竹中大工道具館新館 (公共建築賞・優秀賞)



■立命館大学いばらきキャンパス (公共建築賞・優秀賞)



■ロームシアター京都(公共建築賞・優秀賞)



■TSURUMI こどもホスピス（地域特別賞）



■京都鉄道博物館（地域特別賞）

写真データの用意がごさいます。
詳しくは担当までお問い合わせください。